


# 第10期(2015年3月期)決算説明会

2015年6月2日

 ジャパンパイル株式会社

I. 決算のポイント、主なトピックス	3 ~ 5
II. マーケットの動向	7 ~ 9
III. 第10期(2015年3月期)決算概要(連結)	11 ~ 14
IV. 経営概況	16 ~ 21

## I .決算のポイント、主なトピックス

# 1. 決算のポイント

---

(1) 2015年3月期は、国内コンクリートパイルのマーケットが減少する中、大型物件が堅調であったこと、PV社(ベトナム)が通期で連結寄与したことにより増収。

- ・連結売上高は671億円で前期対比2.1%の増収。

- ・うち国内売上高は616億円で前期対比4.8%の減収、

うちPV社の売上高は55億円で、連結寄与額は前期対比45億円の増加。

(PV社単体は同53.0%の増収)

(2) 2015年3月期の国内コンクリートパイルは、業界全体で出荷量が前期対比9.9%減少。

当社のシェアは出荷量で0.5ポイント、完工量で0.1ポイントアップした。

(3) 利益は国内コンクリートパイルの需要減少と、製造量の低下により、

営業利益で前期対比9.9%の減益、経常利益は同13.5%の減益。

---

## 2. 主なトピックス

---

### ＜ご参考＞ 第10期上期

- 2014年 6月 ファン カック ロン氏(PV社会長)が当社取締役就任。  
PV社(ベトナム)との連携強化。
- 2014年 8月 既成コンクリート杭と空調技術を融合した画期的な地中熱利用システム工法を新日本空調株式会社と共同開発。
- 2014年 9月 Me-A工法(中間及び先端に拡径部を有する場所打ち杭工法)の一般評定を取得。
- 2014年10月 九州(福岡)新工場の建設着工。
- 2014年10月 中間配当(1株当たり6円)の実施を発表。
- 2014年10月 Phan Vu Hai Duong Concrete Joint Stock Company(ベトナム)の株式取得(約5億円、47.9%)を発表。ベトナム北部の基礎工事関連事業の本格的展開に着手。
- 2014年10月 ミャンマーにて、Myanmar V-Pile Co., Ltd.(ミャンマー)、PV社(ベトナム)と当による合弁会社VJP Co., Ltd.の設立を発表。  
ミャンマー国内でのコンクリートパイルの生産販売を行う計画。

## 2. 主なトピックス

---

2015年2月 PV社(ベトナム)のロンアン工場が竣工。

2015年2月 国内及び海外でのさらなる展開を目指し、持株会社体制移行の計画を発表。

2015年4月 ER Pile II 工法(場所打ち鋼管コンクリート杭工法)の一般評定を取得。

2015年5月 2015年10月(予定)に商号を「アジアパイルホールディングス」に変更するとともに、各国に事業会社を配置した持株会社体制に移行することを決議。

2015年5月 ミャンマーの合弁会社VJP Co., Ltd.の設立に伴い、資本金の払込みを実施。

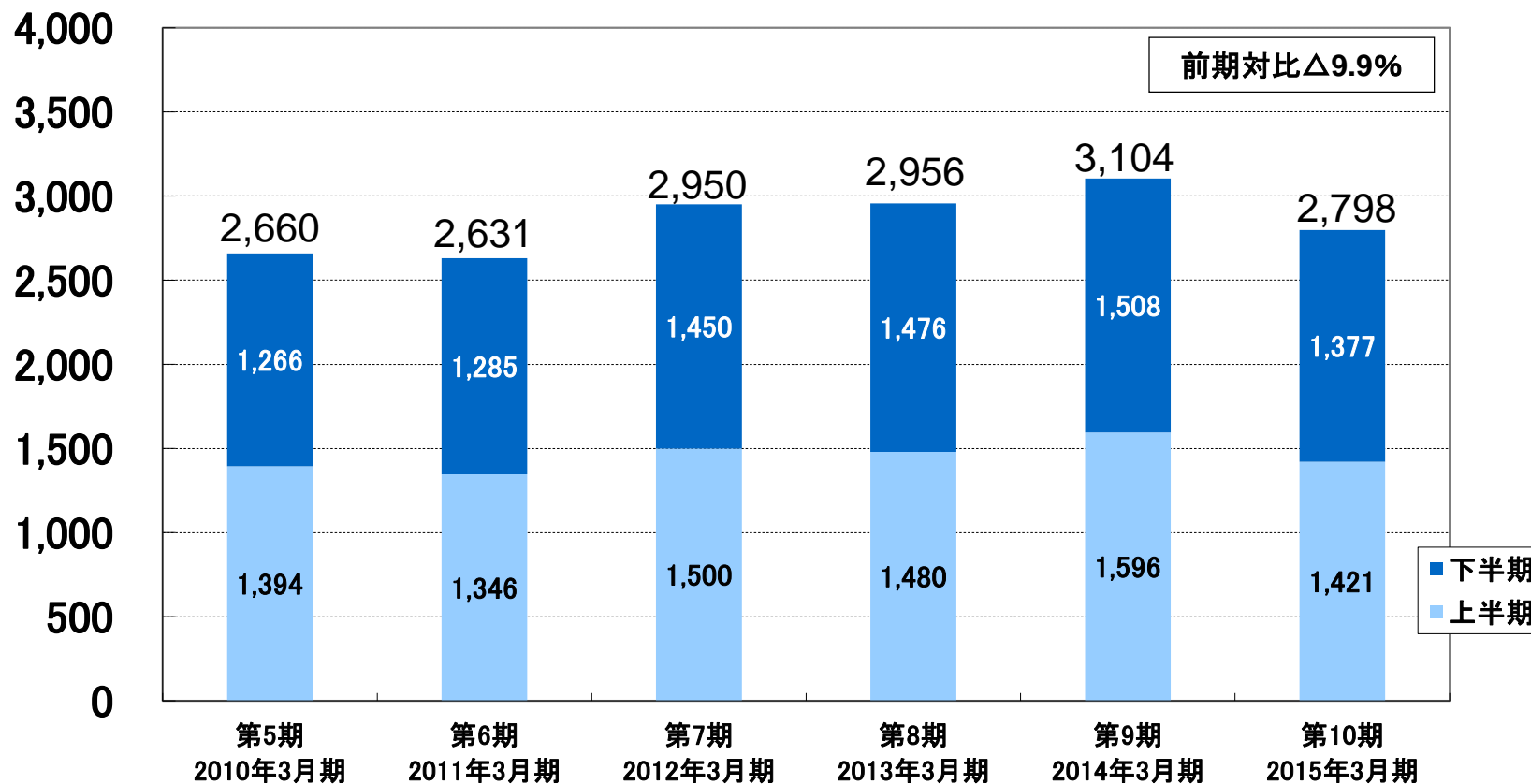
---

## Ⅱ. マーケットの動向

### 3. 全国コンクリートパイロ出荷量

コンクリートポール・パイロ協会資料

(単位:千トン)

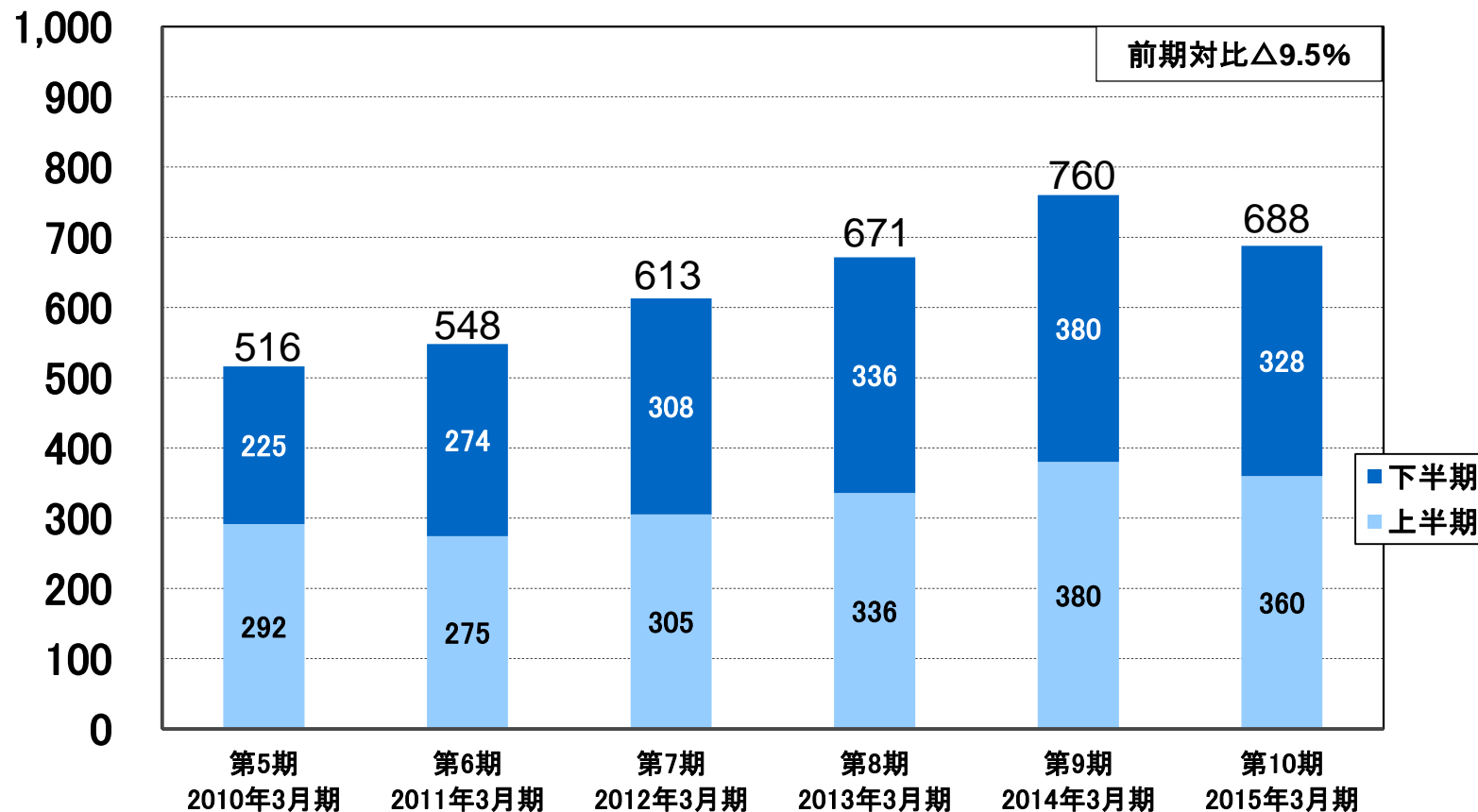


コンクリートパイロの出荷量は、9.9%の減少となった。



## 4. 当社のコンクリートパイプの完工量(国内)

(単位:千トン)



当社の国内コンクリートパイプの完工量は、9.5%の減少となった。

## 5. コンクリートパイルのシェア

コンクリートポール・パイル協会資料

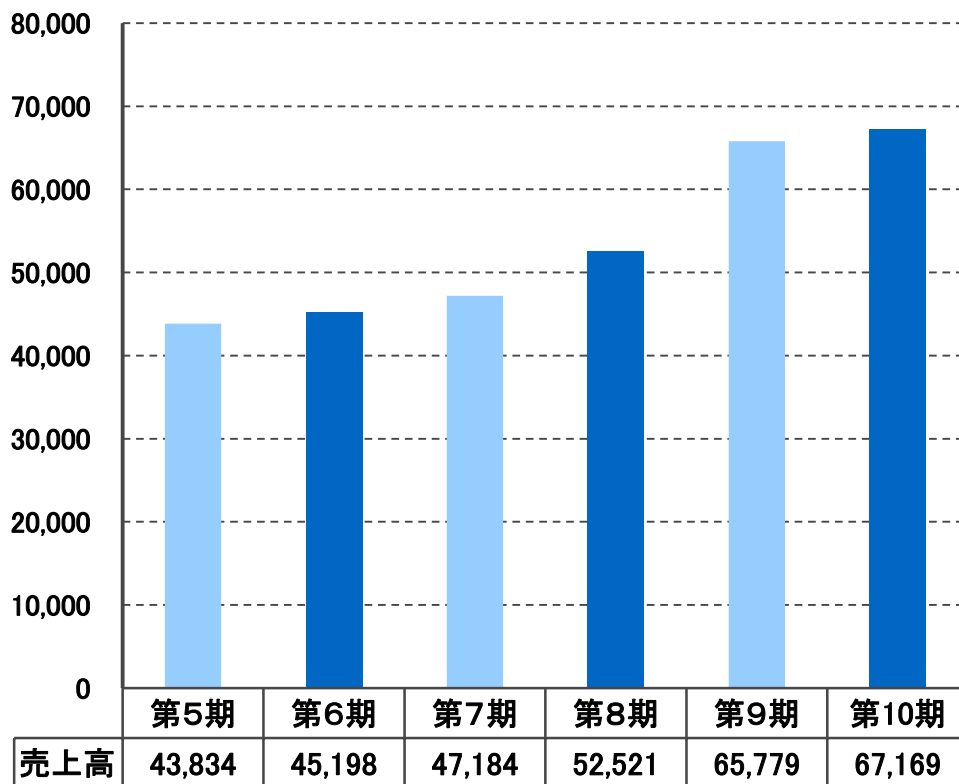
		第5期 2010年3月期	第6期 2011年3月期	第7期 2012年3月期	第8期 2013年3月期	第9期 2014年3月期	第10期 2015年3月期
ジャパンパイル	出荷量(t)	439,231	498,000	546,784	639,806	710,708	655,059
	シェア	16.5%	18.9%	18.5%	21.6%	22.9%	23.4%
	完工量(t)	516,301	548,030	613,124	671,474	760,254	687,510
	シェア	19.4%	20.8%	20.8%	22.7%	24.5%	24.6%
三谷セキサン	出荷量(t)	590,959	582,583	747,655	686,894	757,701	684,755
	シェア	22.2%	22.1%	25.3%	23.2%	24.4%	24.5%
日本コンクリート 工業	出荷量(t)	268,253	231,029	276,141	270,303	241,770	240,390
	シェア	10.1%	8.8%	9.4%	9.1%	7.8%	8.6%
日本ヒューム	出荷量(t)	220,663	211,968	250,656	222,848	269,879	251,255
	シェア	8.3%	8.1%	8.5%	7.7%	8.7%	9.0%
トーヨーアサノ	出荷量(t)	148,569	166,534	200,575	175,784	195,838	197,389
	シェア	5.6%	6.3%	6.8%	5.9%	6.3%	7.1%
上位5社計	出荷量(t)	1,667,675	1,690,114	2,021,811	1,995,635	2,175,896	2,028,848
	シェア	62.7%	64.2%	68.5%	67.5%	70.1%	72.5%
総出荷量	出荷量(t)	2,660,245	2,631,261	2,950,442	2,956,302	3,104,308	2,798,246

### **Ⅲ. 第10期(2015年3月期) 決算概要(連結)**

## 7. 連結売上高・営業利益の推移

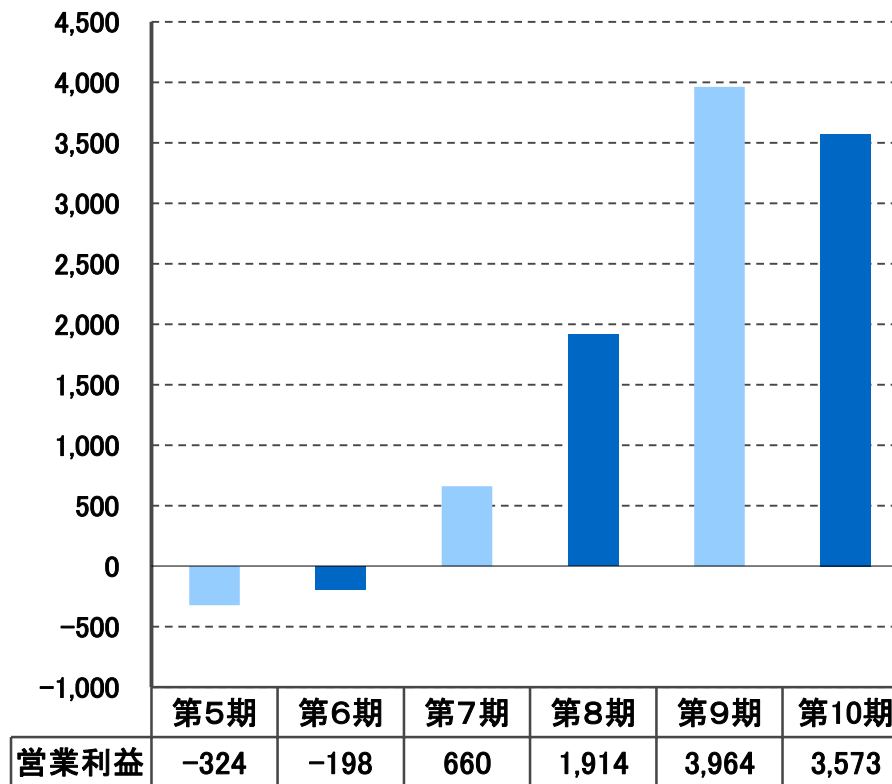
### 売上高

(単位:百万円)



### 営業利益

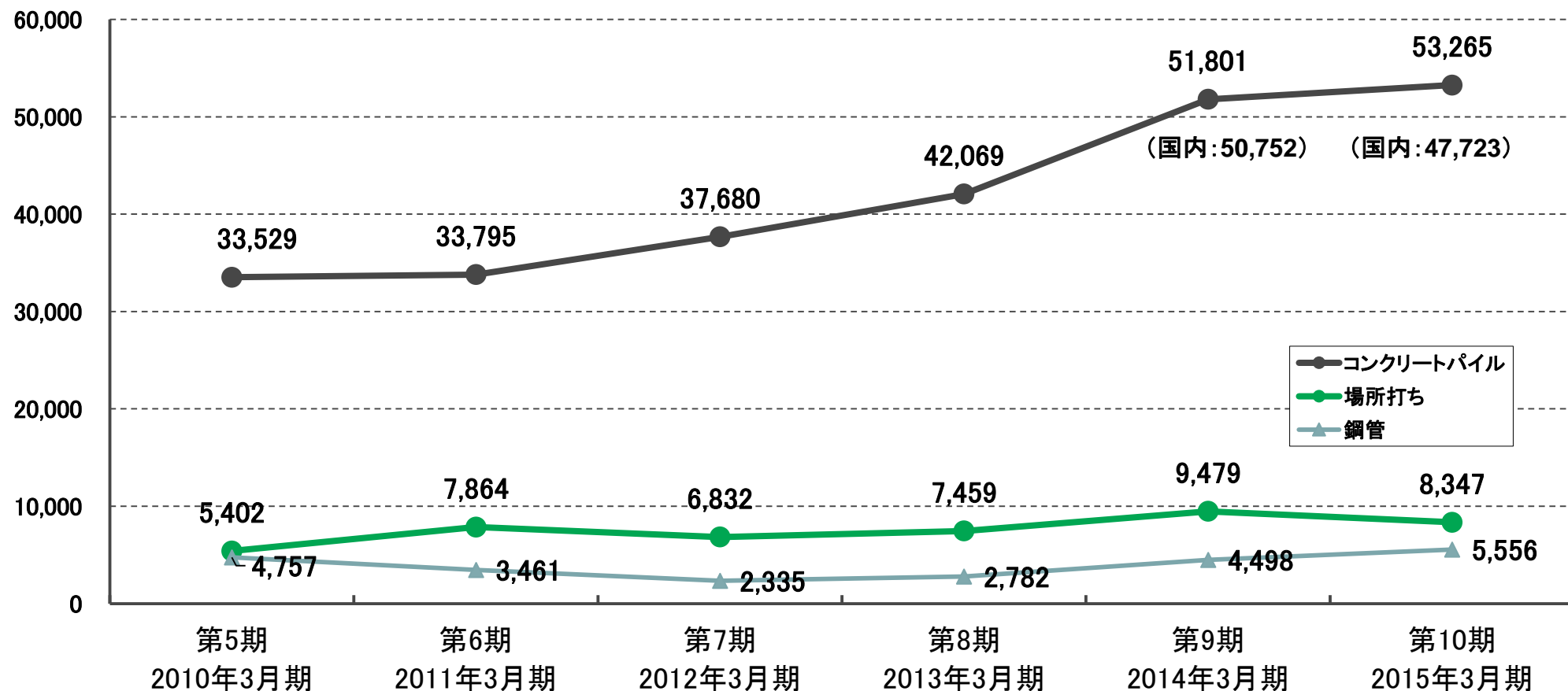
(単位:百万円)



売上高は前期対比2.1%増収、営業利益は9.9%の減益となった。

## 8. 連結部門別 売上高の推移

(単位:百万円)



**コンクリートパイルは2.8%、鋼管は23.5%増収、場所打ちは11.9%の減収。**

## 9. 比較連結損益計算書

(単位:百万円)	第5期 2010年3月期	第6期 2011年3月期	第7期 2012年3月期	第8期 2013年3月期	第9期 2014年3月期	第10期 2015年3月期	第11期 2016年3月期 【予想】
売上高	43,834	45,198	47,184	52,521	65,779	67,169	70,000
売上総利益	5,909	5,599	6,914	8,099	10,768	10,613	11,200
(売上総利益率)	(13.5%)	(12.4%)	(14.7%)	(15.4%)	(16.4%)	(15.8%)	(16.0%)
販売費及び一般管理費	6,233	5,798	6,253	6,185	6,803	7,040	8,100
営業利益	△ 324	△ 198	660	1,914	3,964	3,573	3,100
経常利益	39	45	963	2,167	4,239	3,666	3,100
税金等調整前当期純利益	△ 488	△ 2,238	806	2,198	4,213	3,415	—
当期純利益	△ 498	△ 2,201	1,309	2,011	2,661	2,396	2,100
ROE	△3.7%	△18.6%	11.8%	15.1%	14.3%	10.2%	—

# 10. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第5期 2010年3月期	第6期 2011年3月期	第7期 2012年3月期	第8期 2013年3月期	第9期 2014年3月期	第10期 2015年3月期
税金等調整前当期純利益	△ 488	△ 2,238	806	2,198	4,213	3,415
減価償却費	1,551	1,334	947	897	1,068	1,514
売上債権の増減 (△は増加額)	7,462	△ 2,190	△ 1,014	△ 2,106	△2,276	291
たな卸資産の増減 (△は増加額)	1,486	△ 822	290	△ 1,471	548	△834
仕入債務等の増減 (△は減少額)	△ 6,351	3,097	103	3,533	1,317	832
その他	△ 2,301	1,378	486	△ 89	△359	△969
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,358</b>	<b>558</b>	<b>1,618</b>	<b>2,963</b>	<b>4,511</b>	<b>4,249</b>
有形固定資産の増減	△ 1,523	△ 246	△ 67	△ 131	△1,214	△3,080
投資有価証券の取得	△ 110	△ 150	△ 480	△ 625	△135	△2
その他	30	△ 169	△ 32	44	△95	△57
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,603</b>	<b>△ 565</b>	<b>△ 579</b>	<b>△ 712</b>	<b>△1,445</b>	<b>△3,140</b>
借入金・社債の増減	216	△ 315	△ 120	△ 2,280	△1,995	△988
配当金の支払	△ 312	△ 208	△ 127	△ 203	△435	△456
株式発行による収入	—	—	—	1,096	4,184	—
その他	△ 210	△ 397	△ 355	△ 467	271	△572
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 306</b>	<b>△ 921</b>	<b>△ 602</b>	<b>△ 1,854</b>	<b>2,025</b>	<b>△2,016</b>
<b>IV. 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>6,557</b>	<b>5,630</b>	<b>6,067</b>	<b>6,463</b>	<b>11,564</b>	<b>10,741</b>

## IV. 経営概況



# 11. 経営概況

---

## 1. 昨年度の特徴

(1) 民需の不振

(2) 大型工事の増加

(3) 海外事業の本格化

# 11. 経営概況

---

## 2. 今年度の方針

(1) 中小型工事獲得の推進

(2) 新工法の拡販

(3) 大型工事の獲得

(4) 海外事業の更なる拡大

# 11. 経営概況

---

## 3. 中長期方針・・・成長戦略

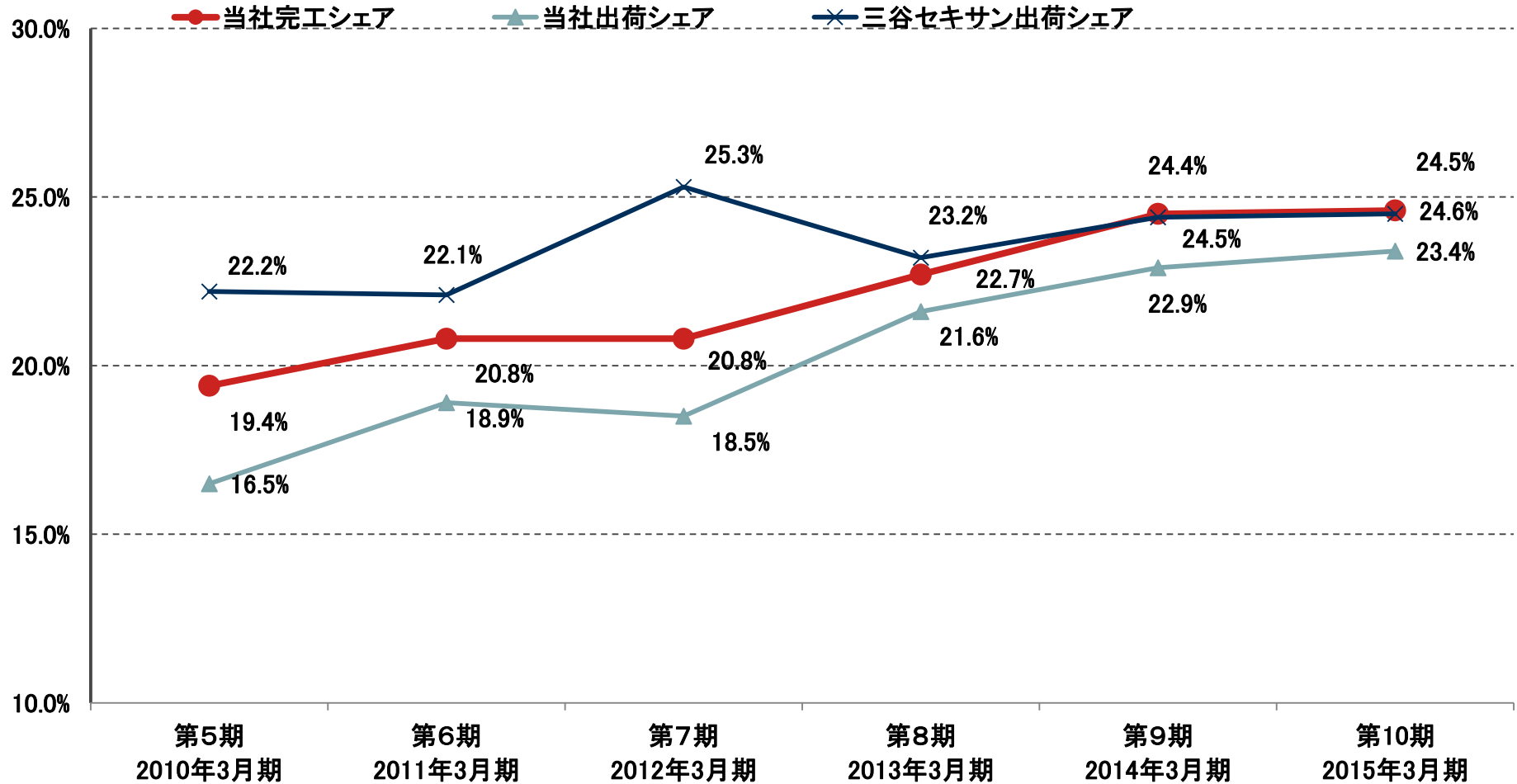
第一段階・・・収益基盤の確立

第二段階・・・業界における当社の優位性の確立

第三段階・・・当社の新たな発展を目指す

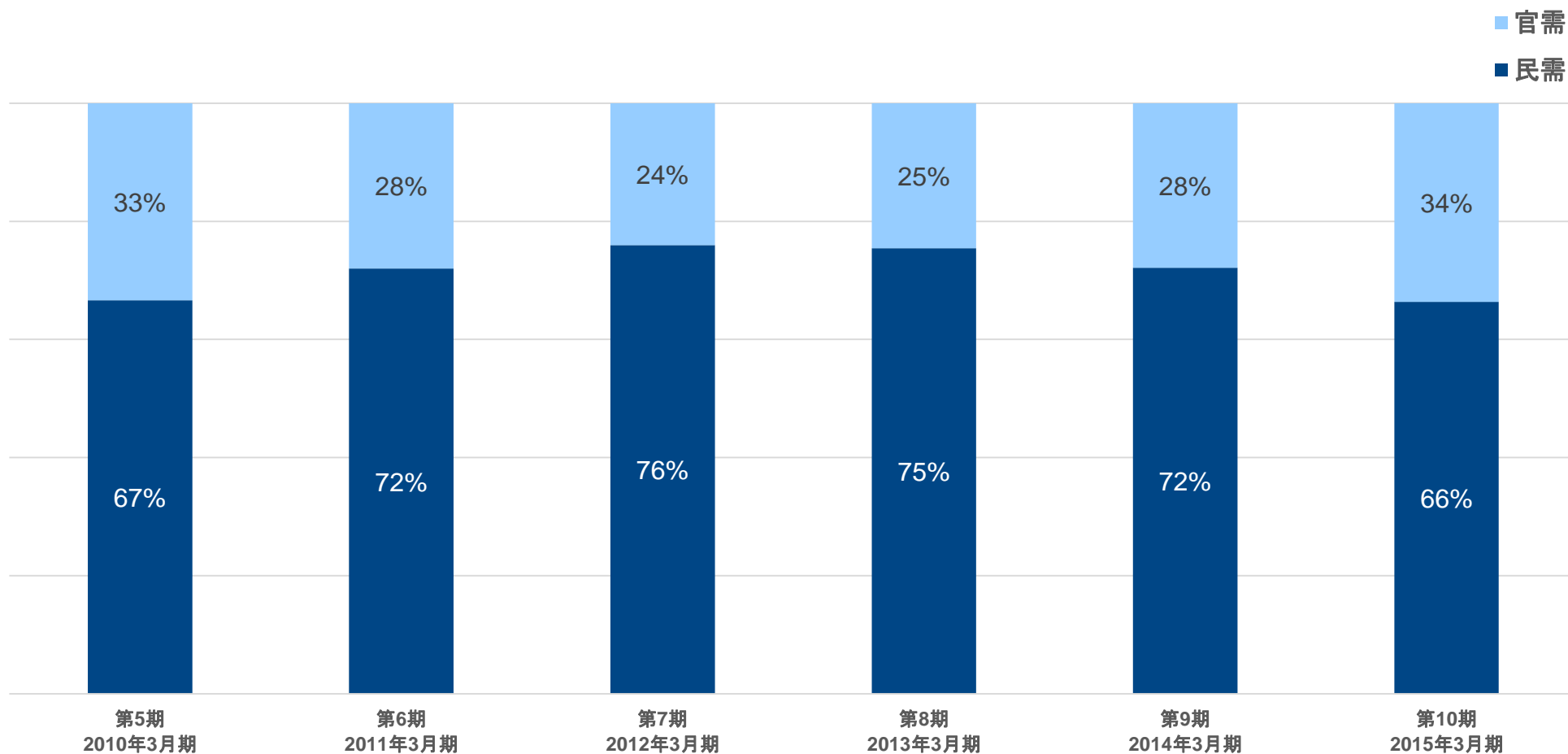
## 4. 当社の成長は更に続く

# コンクリートパイプシェアの推移(国内)

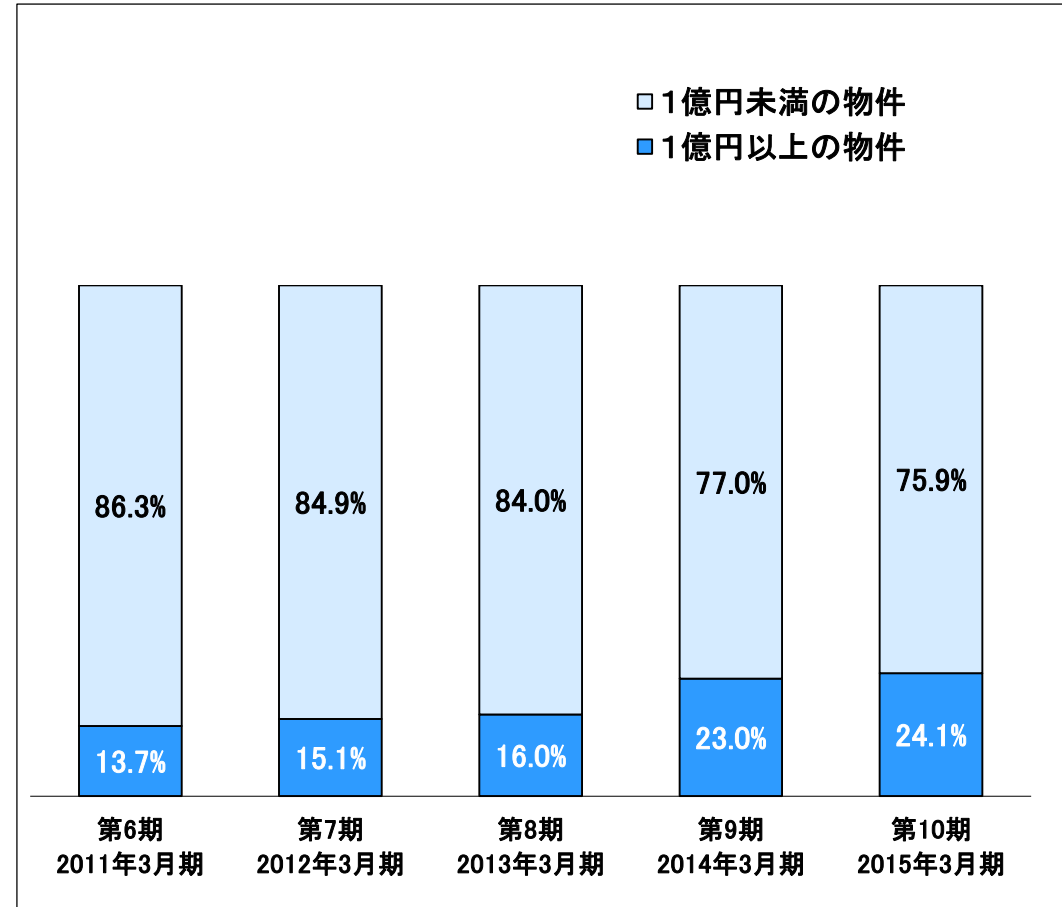
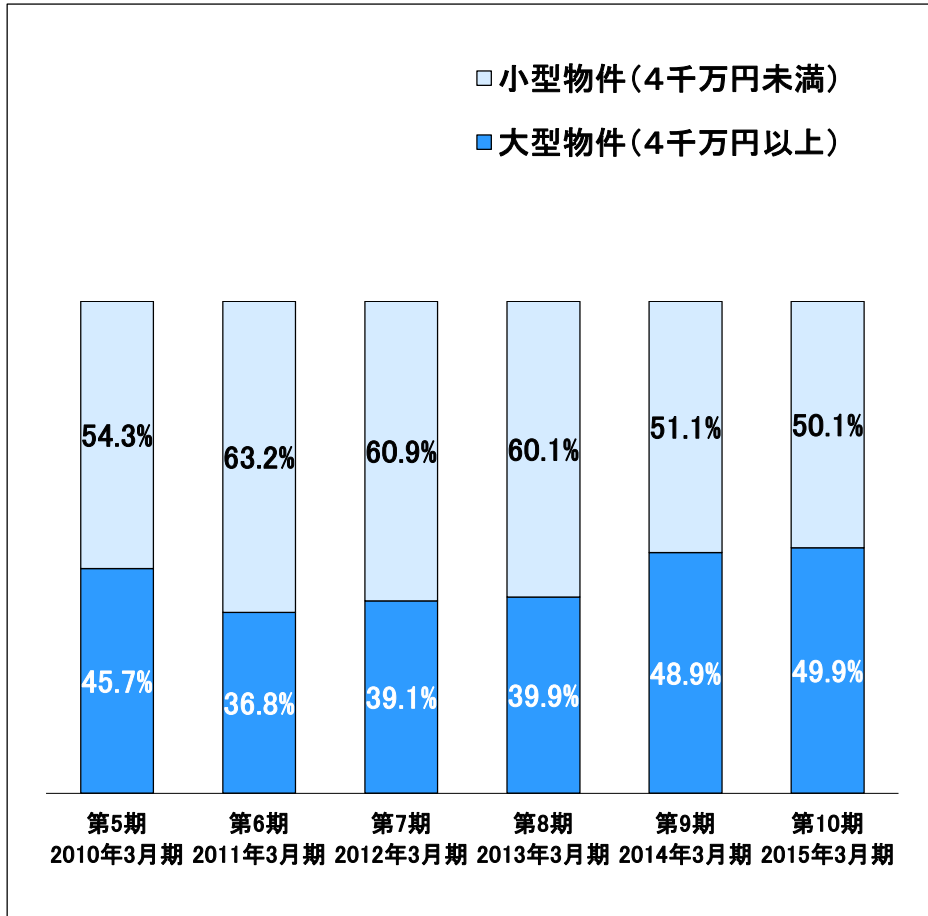


**完工シェアは0.1 出荷シェアは0.5ポイント上昇した。**

# 全国のコンクリートパイプ出荷率(官需・民需別)



# 売上高別比率（国内）



大型物件の比率が増加。